

# 笛吹社協だより

30'夏号  
第55号 平成30年8月発行



# かけはし

## 地域福祉推進委員

## 住民の声を地域づくりにつなげる

▶▶▶くわしくはP4～5へ



基本方針  
7つのあい

- 知りあい
- つながりあい
- みとめあい
- そだてあい
- ささえあい
- 見守りあい
- 助けあい

石和地域 みまもり活動の様子

### ～ 目次 ～

- P2 ▶▶ ●平成29年度 事業報告、決算概要
  - 一宮地区複合的福祉サービス拠点建設事業について
  - 平成31年度 笛吹市社会福祉協議会 正規職員募集
  - 評議員変更のお知らせ
- P3 ▶▶ ●日常生活自立支援事業
- P4 ~ P5 ▶▶ ●**特集** 地域福祉推進委員会の紹介
- P6 ▶▶ ●ボランティア活動功労賞・奨励賞受彰者紹介
- P7 ▶▶ ●第4回チャリティーゴルフ大会  
デイサービスだより「夏野菜に心もほっこり」  
善意の寄付・寄贈の御礼
- P8 ▶▶ ●シリーズ「地域づくり」



発行

## 社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会

住所／〒406-0822 笛吹市八代町南 917  
電話／055-265-5182 FAX／055-265-5183  
発行責任者：社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会 会長 早河正弘  
広報「かけはし」には、赤い羽根共同募金の配分金が活用されています。

# 事業報告

笛吹市社会福祉協議会（以下「社協」といいます。）は、「安心して暮らせる幸せあふれるまちづくり」をスローガンに、「第3次地域福祉活動計画」を住民、行政と協働して推進してきました。また、社協発展強化プランを着実に実行し、第3次地域福祉活動計画推進を確実に図るための組織づくりを進めてきました。

平成29年度の重点目標「相談・支援体制の強化を図る」では、生活困窮や認知症等、様々な住民からの相談に対して、住民や各種機関、関係者との連携を強化して課題の解決を行ってきました。また、地域福祉部門と在宅介護支援部門が連携を強化し、様々な課題を共に解決できる支援体制づくりを進めました。

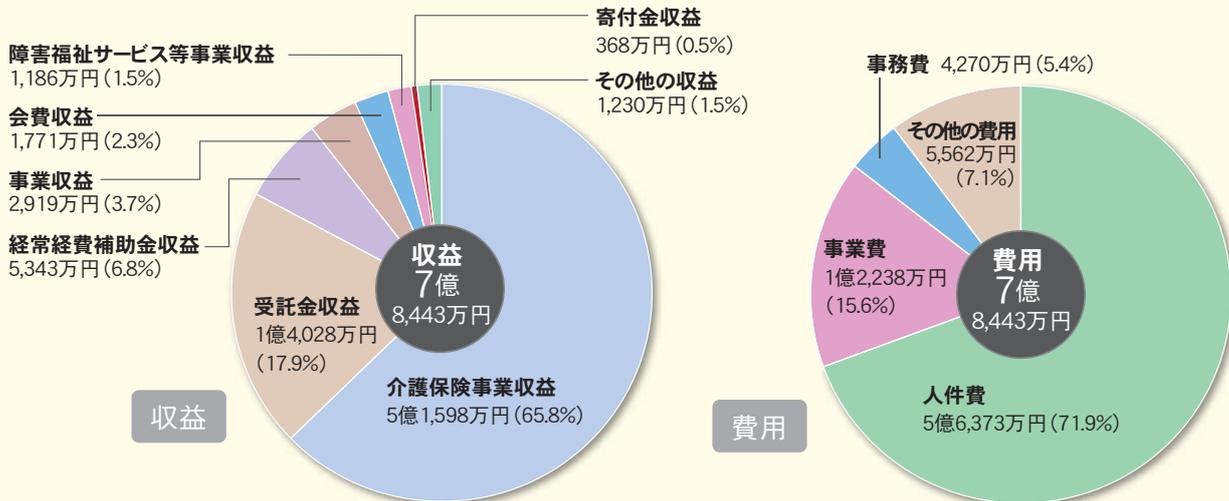
地域福祉部門では、特に生活困窮の相談に対して、資金の貸付や家計の適正化支援を行って住民の自立支援を行いました。見守り活動の広がりや住民と協働で推進する権利擁護活動の発展により、支援体制の強化を図りました。

在宅介護支援部門では、社協としての役割を踏まえ、「断らない事業所」として、身体障がい者、精神障がい者や重度医療者、重度認知症の方を積極的に受け入れ、また、山間地域の方の受け入れも行ってきました。総合事業にも積極的に対応し、介護予防と自立支援の推進に取り組むとともに、制度外サービスにより制度の狭間、家族の介護離職対策等も視野に、在宅での生活の継続を支援しました。

住民と共に進める地域づくりでは、市民活動・ボランティアセンターの職員を増員し、コーディネートと活動の強化を図りました。また、住民やNPO、企業等と共に子どもの居場所づくりを大きく広げることができました。

総務部門と地域福祉部門が連携して赤い羽根共同募金配分委員会を設置する等、三部門間における必要な情報のやり取りがスムーズに行え、協働できる体制づくりを進めました。

# 決算概要



※その他の費用の中には、当期活動増減差額2,282万円を含みます。

## 一宮地区複合的福祉サービス拠点建設事業について

笛吹市社会福祉協議会は、住み慣れた地域において、誰もが分け隔てなく支え合う、共生型社会の構築を推進しています。この度、一宮地区の福祉拠点として複合的福祉サービス施設を建設し、**共生型の多世代交流・多機能の福祉拠点とした地域づくり**に取り組みます。●介護保険サービス ●障害福祉サービス ●地域の皆さんが集える場  
平成32年の開設に向けて、準備を進めています。



平成31年度 社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会

### 正規職員募集

総合職 1名

社会福祉士 2名

介護福祉士 2名

【受付資格】平成6年4月2日以降に生まれた方

【申込方法】採用試験申込書は、本会総務課または、本会ホームページより入手してください。

\*市販の履歴書不可 ☆詳細は、今後ホームページに掲載します。



### 評議員変更のお知らせ

平成30年6月6日をもって風間斉氏が評議員を退任し、新しく飯島尚美氏が就任いたしました。



ほんにん く あんしん てつだ じぎょう  
本人の暮らしの“安心”をお手伝いする事業

にち じょう せい かつ じ りつ し えん じ ぎょう  
**日常生活自立支援事業**

つながりあい

ささえあい

見守りあい

助けあい

にちじょうせいかつじりつしえんじぎょう ちてきしょう  
日常生活自立支援事業とは、知的障  
がい・精神障がい・認知症等により、  
にちじょうせいかつ ふあん かか かに  
日常生活に不安を抱えている方へのサ  
ポートを行う事業です。どんな事業か  
じっさい じぎょう  
実際にサービスを受けているTさんの  
れい つう しょうがい  
例を通じて紹介させていただきます。

Tさんは決められた金額のなかでの  
せいかつひ こま てつづ  
生活費のやりくりや、細かい手続き  
にがて  
が苦手です。

Tさんのお兄さんは県外在住のため、  
にちじょうせいかつ しえん おも でき  
日常生活の支援が思うように出来ません。



せいかつしえんかん  
生活支援員

Tさん

せんもんいん  
専門員



にちじょう せい かつ じ りつ し えん じ ぎょう  
日常生活自立支援事業  
ご近所のIさん

そこで、本事業の専門員が本人の  
いこう そんちやう あんしん せいかつ  
意向を尊重し、安心して生活できる  
じつたいはあく しえんけいかく さくせい  
ように、実態把握、支援計画の作成、  
けいやくていけつぎやうむ おこな  
契約締結業務を行いました。

Tさんへの具体的な支援は生活支  
えんいん おこな しえんないやう つうちやう  
援員が行います。支援内容は、通帳・  
いんかん かんり せいかつひ てわた せいかつじやう  
印鑑の管理、生活費の手渡し、生活上  
ひつやう けいひ はらいもど だいこう かくしゆてつづ  
必要な経費の払戻し代行、各種手続  
おこな  
きを行っています。

このような福祉サービス支援や、

きんじよ かたがた みまも  
近所の方々の見守りがあるので、  
Tさんはお小遣いの範囲内で、大好  
こづか はんいなし だいす  
きなアイスをお近くの商店で購入する  
きんじよ しょうてん こうにゆう  
など、安心して地域の中で暮らすこ  
あんしん ちいき なか く  
とが出来ています。

社協はTさんのように支援が必要  
しやきやう しえん ひつやう  
な方々を、地域の皆様と、保健福祉  
かたがた ちいき みなさま ほけん ふくし  
かんけいしや とち ちいき してん  
関係者と共に地域づくりの視点を  
も しえん  
持って、支援させていただいています。



さきやうじよ  
作業所

デイサービス

ケアマネジャー

お兄さん

せんもんいんれんらくかい しえん おこな  
**専門員連絡会 ~よりよい支援を行うために~**

しやきやう かくちいきじむしょ せんもんいん つき かいあつ しえん おこな かた  
社協では各地域事務所の専門員が月1回集まり、支援を行っている方  
じやうほうきやうゆう おこな いろいろ してん だ あ こう  
の情報共有を行い、色々な視点でのアイデアを出し合いサービスの向  
じやう はか がいぶ こうし まね べんきやうかい おこな あたら せいど  
上を図っています。また、外部の講師を招き、勉強会を行い新しい制度  
べんきやう おこな せんもんできちしき ふか  
の勉強を行うなど専門的知識を深めています。



し えん ない やう  
● **支援内容**

ていきてき ほうもん そうだん  
定期的な訪問、相談による  
3つのサービスがあります。



かいこほけん ふくし  
介護保険などの福祉サー  
りやうてつづ しえん  
ビスの利用手続きの支援



かね だ い しえん  
お金のやりとりや預金の  
出し入れの支援



つうちやう いんかん ねんきんしょうしょ  
通帳や印鑑・年金証書な  
どの保管

り やう し かた  
● **利用の仕方**

しやきやう まがる もう こ こま そうだん  
社協へ気軽に申し込んでください。あなたの困りごとの相談  
あう ひつやう しえんないやう かくにん しやきやう けいやく か  
に応じ、必要な支援内容を確認し、社協と契約を交わします。  
しやきやう ひみつ まち せいかつ ささ あんしん  
社協は、あなたの秘密を守りながら生活を支えますので安心し  
たの くだ そうだん むりやう  
て頼んで下さい。相談は無料です。

● **利用料**

さいしよ じかん えん い こ ふん えん  
最初の1時間1,000円、以後15分ごと250円がかり  
しよるいなど あす げつかく えん かつどう ともな こう  
ます。また、書類等のお預かりは月額300円、活動に伴う交  
つうひ えん  
通費は1kmあたり20円がかかります。

お問  
合わせ

しやきやう こうけん  
**社協・後見センターふえふき**

ふえふきちくちいきふくしけんりやうこ  
(笛吹地区地域福祉権利擁護センター)

TEL 055-265-5182



推進委員会グループで話し合いの様子

# つなげよう、つたえていこう、温かい心 いさわ 石和地域の活動紹介

石和地域では4つのグループに分かれてお互いのグループで協力しながら活動しています。地域内の活動を推進委員会で把握、参加、協力を行うことで、地域の温かい心をつなげていけるよう活動を行っています。



委員長 竹内 稔さん

## あいさつグループ

あいさつ・声掛けをして「会話ができる」関係づくりをすすめよう

## 世代間交流グループ

世代を超え、子どもから高齢者まで交流しよう



石和北小登校の見守り



ご近所さんで集まってサロン活動



民生委員と保育園の交流



小石和藪玉づくり



小石和見守りパトロール隊



石和西小見守りボランティア対面式



笛吹ロータリークラブ 花さかじいさん



老人クラブと保育園の交流

## 環境ボランティアグループ

環境美化活動を通してボランティア精神を育てよう

## 防災グループ

防災意識を高め、安心・安全な地域を創っていきましょう



笛吹高校野球部 ゴミ拾い



登下校の見守りをしながらゴミ拾い



防災危機管理課と情報交換



八田区 防災訓練



石和温泉駅パラ手入れボランティア体験



山岸区 町内一斉清掃の話があがった座談会



河内区 聴覚障がい者も参加した防災訓練



唐柏自主防災

# 笛吹社協の ~住民の声を 地域づくりにつなげる~ 地域福祉推進委員会をご紹介

平成28年夏号では、地域福祉推進委員の皆さんが中心となって、地域をより良くするために住民と座談会を開いている様子を紹介しました。今号のかけはしでは、その後の流れと、石和地域での活動紹介、平成30年度より新たに決まった地域福祉推進委員の皆さんの紹介をします。

## 7つの地域のサブテーマ

平成29年7月に策定した『第3次地域福祉活動計画』において、地域ごと(7つのまち)の地域福祉活動計画を地域福祉推進委員の方が中心となって、座談会の内容をもとに作成を進めていきました。各町でサブテーマを決め5年間かけて地域づくりに取り組んでいます。

## 7つの町の“こんなまちだったらいいな”

- 石和町 つなげよう、つたえていこう、温かい心 いさわ
- 御坂町 となり近所 気にかけて、地域の絆をつなげよう
- 一宮町 声をかけ 支えあう町 いちのみや
- 八代町 あいさつから始める 気にかけて支え合える まちづくり
- 境川町 境川に住んで良かった~共に支え・生き・歩む 地域づくり~
- 春日居町 つづけ!笑顔のまち 春日居
- 芦川町 住民全員がボランティア!!



石和町 地域推進委員会



座談会

詳しい活動計画は「第3次地域福祉活動計画」を見てね!



ホームページからも見られるよ!



## 地域福祉推進委員会って?

### どんな人がなっているの?

各町単位で、民生委員・児童委員、各種団体の代表、ボランティア活動を行う団体の代表、区長会及び地域住民の代表、各町の行政の代表等に、委員になっていただいております。任期は2年間で、笛吹市社会福祉協議会会長より委嘱をいたします。平成30年、31年度の地域福祉推進委員は、下段の名簿のとおりです。

### どんな活動をしているの?

地域福祉推進委員会では、各町(7地域)ごとに、年に数回の協議を行っています。そこでは、社協理事・評議員の選出に関する事項の取り決めや、地域福祉の推進に関係する事項の共有などを行なっています。また、住み良い地域にするために、地域のよいところ、困っていること等を、知恵、アイデアを出し合いながら自分たちのできることを共有し、地域づくりの活動を社協と一緒に推進しています。

地域福祉推進委員会を通じて、「つなぎ」「つたえる」かけはし役として、「住民が主役」の地域づくりを進めていきます!

## 地域福祉推進委員の皆さん

芦川町	春日居町	境川町	八代町	一宮町	御坂町	石和町								
野澤今朝幸 宮川正夫 芦澤 薫 芦澤孝男 芦澤俊恵 芦澤義男 霜村和也 霜村信子 霜村武士 霜村守久	窪田 巧 佐久間正美 芦澤茂幸 天野寿喜 雨宮静子 雨宮宗義 飯田 修 石原 均 市川治夫 伊 藤	岩間 靖 小川映貴 菊島良治 久保田眞五 窪田信一 佐藤泰雄 鎮目堅士 志村美佐枝 田草川睦美 竹下武彦	竹下真澄 田中 勇 田邊勝寿 中村 拓 山崎光世 山田 榮 横内賢浩 吉岡 浩 依田正二 若 杉	宮澤黎夫 雨宮千代子 芦澤 正 雨宮富美雄 石田一規 長田美津恵 橋田 進 橋田邦子 橋田昌泰 小林 幹夫	竜澤真弓 土屋由紀子 長谷部辰男 宮川明史 向山富美子 渡辺英明	今泉教秋 小林信一 雨宮 隆 飯田三郎 飯塚秀子 石原清子 市川節生 大塚よしみ 風間昭彦 菊島正毅	橋田正博 梶美智雄 小穴美仁 志村和恵 丹澤 納 中村悦子 中村和子 西海俊夫 樋口 猛 古屋敦子	丸山泰男 宮川二三子 武川昌代 武川照子 武川重信 矢崎秀昭 宮崎 靖	降矢好文 渡部源吉 相河英子 雨宮美枝子 風間一幸 久津間登 久保田克己 小林祐彦 佐藤龍彦 島村秀忠	田草川光男 堀内 新 吉原和洋 米山昭美	飯塚三郎 久保田人司 天野光江 雨宮 融 上野正明 梶原俊貴 橋田郁雄 河野正美 小林八重子 田中親吾	花田晴雄 埴原喜久男 平松由美子 古屋 洋 保崎邦雄 堀内 實 向山千方	竹内 稔 橋田和徳 石川光次 石原和加子 井上冬樹 岩井清彦 植村詔子 大矢俊彦 岡 徹也 岡田彌生	高野哲郎 田中春子 内藤 香 根津 司 林 進一 古屋成和 間瀬靖子 武川美保子 山下真弥 渡邊秀雄

青 赤  
副委員長  
敬称略  
※五十音順



笛吹市災害ボランティア連絡会

素っ飛び会様

いざというとき市災害対策本部の手助けが出来るよう訓練しています。

素っ飛び会様は、平成23年から活動をしています。アマチュア無線の定期交信訓練、モーターパラグライダー飛行訓練を繰り返すことで、災害発生時通信が途絶えた場合に上空から捉えた情報を、市災害対策本部に提供することを想定して活動しています。また、災害救援ボランティアセンター設置運営訓練に協力、AED講習会開催、HUGゲーム(図上避難所訓練)の企画など、住民に災害への備えの普及啓発にも力を入れています。



訓練を繰り返すことでいざという時お役に立てるよう頑張っています。



ふえふき男衆ボランティアの会様

「男手が欲しいが頼れる人がいなくて困った」そんな時が出番です。

男衆ボランティアの会様は、平成24年に設立しました。「庭木の手入れや粗大ごみの片付けなど男手が欲しいが、頼れる人がいなくて経済的に業者に依頼できない」こんな困りごとが社協によせられた時、出番です。この5年半で150件以上、平均で月に2件以上のペースで活動しています。また、困りごとだけでなく、「若彦路やまぶきプロジェクト」など環境美化にも取り組み、各町の福祉祭りに協力したりと頼もしい団体です。



「ありがとうございます、助かりました」の一言が何よりの喜びです。



石原 清子様

「自分にできるボランティアは自分のために引き受けよう!笑顔で!」をモットーに。

平成15年から趣味を生かした市内の通所介護施設などで舞踊の披露、平成23年からは介護予防やってみるじゃん協力員及びシルバー体操指導員として、地域のサロン等で高齢者の健康づくりの増進のために活動をしています。さらに、女衆ボランティア「ごきげんよう」の代表として、清掃、施設訪問、個別家庭での草取り、引越しの手伝いなどの生活支援の活動やデイサービスでの外出支援をされています。八代町の地域福祉推進委員も務められ、地域の良き相談相手として、住民からも厚い信頼を得ています。



元気な指導に体操の参加者も笑顔があふれます



みさか女性物づくりグループ様

仲間作りと、みさか福祉健康まつりの盛り上げ隊

みさか女性物づくりグループ様は、平成24年に発足し、月1回御坂福祉センターに集まり、牛乳パックを使ったアイスなどの小物を作るほか、ボランティアの交流や情報交換を行っています。

デイサービスやNPO法人障がい者を支える会ありがとうの利用者に牛乳パックで作ったアイスや足まくらを贈り、高齢者交流会では、お手玉が入った小物入れを参加者に記念品として配布する等、御坂地域のボランティア活動の盛り上げ役となっています。



女性ならではの得意分野で笑顔の仲間、地域作り

# 第4回笛吹市社会福祉 チャリティーゴルフ大会

～仲間と楽しく地域福祉に協力しよう！～

- 開催日 **9月5日(水)**
- 会場 **春日居ゴルフ倶楽部**
- プレイ費 **ビジター7,800円**  
(セルフ、食事・税込) ※キャディ付き 2,700円追加
- 参加費 **3,000円** (パーティー代、チャリティー募金含む)  
※参加費については現金でのお支払いをお願いします
- 表彰 **優勝・準優勝・ほか多数用意**
- 主催 **笛吹市社会福祉チャリティーゴルフ大会実行委員会**



見守り用の車輛2台と  
発電機2台を社協に  
寄贈しました。



## 競技方法

- ・18ホールズストロークプレイ (ローカルルール適用)
- ・ペリア方式 (ハンディーホールダブルパーカット、ハンディーキャップ合計は36で打ち切り) (同ネットは年齢上位者が上位)
- ・4ヶ所からのショットガンスタート方式
- ・18番ホールをチャリティー募金ホールとし、ワンオンできなかった場合は1,000円の募金をお願いします。

- <定員> 160名(予定) ※定員になり次第締め切ります。お早めにお申し込み下さい。
- <申込期日> 8月10日(金) 締切
- <申込方法> 申込用紙を社協ホームページか窓口でお受け取りください。必要事項を記載し、社協窓口か事務局までFAXまたはご持参ください。
- <事務局> 〒406-0822 笛吹市八代町南917 TEL: 055-265-5182 FAX: 055-265-5183  
笛吹市社会福祉協議会内 チャリティーゴルフ大会実行委員会事務局

※大会に関するお問合せ等は事務局までお願いいたします。  
※協賛金・協賛品の受付をしております。ご協力をよろしくお願いいたします。

～デイサービスだより～

## 夏野菜に 心もほっこり

境川デイサービスでは、春先に地域住民の方々やボランティアさんのご協力をいただきながら、利用者様と一緒に野菜の苗を植えました。その苗も今はすくすくと育っています。利用者様も大きく育った夏野菜を収穫して、心もほっこりのご様子でした。

大きく育ったかな～



もう、食べごろかしらね

## 善意の寄付・寄贈の御礼

小林よしの様 [御坂]

- >高齢者のために
- ★毛糸の手編み帽子45枚

平成18年度一宮町区長会「桃和会」様 [一宮]

- >一宮町の地域福祉推進のために
- ★16,424円

鈴木アツミ様 [八代]

- >地域福祉の推進のために
- ★介護用ベッド1台

株式会社ジインズ様 [境川]

- >子どもの貧困対策、子ども・子育て支援事業のために
- ★50,000円

寿し正様 [境川]

- >境川デイサービスの事業推進のために
- ★タオル198枚、日本手ぬぐい30枚、布巾4枚

株式会社大塚製薬工場 OS-1事業部様 [東京都]

- >熱中症予防のために
- ★OS-1PET500ml 288本、OS-1ゼリー390個

匿名希望様

- >春日居福祉会館男性浴室での時間の確認のために
- ★防水掛時計1台

匿名希望様

- >高齢者のために
- ★毛布9枚

匿名希望様

- >デイサービスの利用者のために
- ★車椅子1台

匿名希望様

- >福祉業務での利用のために
- ★大人用おむつ158枚

皆さまからお寄せいただいた寄付・寄贈は笛吹市の福祉のために活用されています。皆さまの温かいご協力ありがとうございます。 ※順不同になります(4月～6月)

## 「安心して暮らせる幸せあふれるまちづくり」の実現を あなたの寄付で応援してください

笛吹市社協では、個人の方、企業や団体からの寄付金を本所及び各地域センターにおいて常時受け付けています。お寄せいただいた寄付金は、地域福祉活動に活用させていただきます。ご寄付にあたっては、地域や事業所を指定することや、寄付金の使い道を指定する「指定寄付」も受け付けておりますので、寄付金が有効に活用されるようにご相談に乗らせていただきます。

### お問合せ先

- |                           |                           |                          |
|---------------------------|---------------------------|--------------------------|
| 本所 TEL.055-265-5182       | 石和地域事務所 TEL.055-262-1267  | 御坂地域事務所 TEL.055-287-7355 |
| 一宮地域事務所 TEL.0553-47-2288  | 八代地域相談窓口 TEL.055-265-2240 | 境川地域事務所 TEL.055-266-5911 |
| 春日居地域事務所 TEL.0553-26-3667 | 芦川地域事務所 TEL.055-298-2170  |                          |

第2回

つながりあい

そだてあい

ささえあい

知りあい

みとめあい

見守りあい

助けあい

# 7つのあい

7つの地域あい

みんなでいっしょにつくる共生のまち

第3次地域福祉活動計画

「子どもの会」  
野外活動の様子



発達障がいのある子どもは、特別支援学校ではなく、地域の普通学校に通学している子どもが多くいます。今回は、子どもが安心して学校生活を送れるように、様々な法律や制度を学んだり、学校に対して働きかけたり、一生懸命走り続けているお母さんたちの活動を紹介します。ともに悩み、学び、思いを共有しあうお母さんたちのグループにインタビューしました！

**Q** 「みるくらぶ」ができたきっかけは？

**A** 病院でのグループリハビリテーションで出会った子どもたちの仲間がきっかけで、親も集まるようになりました！

**Q** 特別支援学校ではなく、普通学校に通うことで難しいことは？

**A** 発達障がいや法律について、自分たちでたくさん情報を集め、勉強し、学校の先生に理解してもらいながら協力をお願いしていくことが大変です。今後の進路も心配です。発達障がいといっても一人一人特性が違うので、親も学校の先生も大変だと思います。

発達障がいのある子どもは、特別支援学校ではなく、地域の普通学校に通学している子どもが多くいます。今回は、子どもが安心して学校生活を送れるように、様々な法律や制度を学んだり、学校に対して働きかけたり、一生懸命走り続けているお母さんたちの活動を紹介します。ともに悩み、学び、思いを共有しあうお母さんたちのグループにインタビューしました！

みとめあい

そだてあい

知ってほしい！  
発達障がいの子どもの持つ  
ママのパワーとその思い！



レポート  
by 慶



■お問合せ  
障害者地域活動  
支援センターふえふき  
TEL : 055-263-1777  
FAX : 055-263-1769

**Q** 「みるくらぶ」への思いを教えてください！

**A** 親の会だけでなく、子どもだけの会もあります。子どもたちはその会でお互いに悩みを出し合い、自分一人ではないこと、やり方はいくらでもあることを学んでいます。親も、周りから「そのくらい大丈夫」と言われたり、冷たい目を感じる時もあります。心が折れる前に、子どもも親も支えあえる場所が必要です。孤独が一番辛いですし、一人では気持ちが八方塞ぎになってしまいます。ここにすれば、みんなが分かってくれます。みるくらぶと子どもの会は、子も親も一緒に切磋琢磨していく場所です。子どもたちが「もつこの会がなくても大丈夫」と思うまで私たちも続けて行きます。

発達障がいのある子どもは、特別支援学校ではなく、地域の普通学校に通学している子どもが多くいます。今回は、子どもが安心して学校生活を送れるように、様々な法律や制度を学んだり、学校に対して働きかけたり、一生懸命走り続けているお母さんたちの活動を紹介します。ともに悩み、学び、思いを共有しあうお母さんたちのグループにインタビューしました！

関連情報  
ピアサポート活動って何？  
ピアとは「仲間」のことです。ピアサポートとは、同じような境遇や悩みを持つ者同士が、同じ仲間としてお互いに支え合っていくことです。

発達障がいのある子どもの就学  
地域の普通学校には、特別支援学級があります。特別支援学級に在籍している子どもの人数は年々増加しており、中でも発達障がいの子どもの割合はとても高いです。笛吹市内の公立小・中学校では、100人に1〜2人が発達障がいのために特別支援学級に在籍しています。



「みるくらぶ」親子で話し合いの様子